

第 126 回番組審議会 2024 年 7 月 12 日(金)開催

[出席委員]

井野瀬 久美恵 委員長、小松 陽一郎 副委員長、
北川 チハル 委員、高見 孔二 委員
橋爪 紳也 委員、原 美和 委員、
松山 秀明 委員、中西 悠子 委員、
龍沢 正之 委員、

[当社側出席者]

三好 康嗣 常務取締役 編成局長
西村 鉄史 営業局長
山下 めぐみ 事務局長

議事の概要

- 1) 三好常務より、甲子園高校野球 100 周年他、当社の番組への取り組み、夏編成について説明。
- 2) 審議の課題番組について、委員からのご意見・ご質問をいただき、それに対して制作側から回答

審議課題

『登山で頂きメシ!』

[2024 年 5 月 19 日(日) 6 時 30 分～放送]

各委員からの主なご意見

評価すべき点

- ・前回の平山祐介さんの回とは違い、初心者でも登れそうな低い山に気楽に登り、さらに料理を楽しむという遼河はるひさんらしさが出ており、遼河さんの表情やしぐさもとても豊かで自然体で良かった。
- ・春の山々の新緑がさわやかで、低山でも富士山と都心が見えるパノラマビューも見応えがあった。
- ・弘沢の滝の音も大変素敵で、実際に登っていない視聴者でも景色を十分に楽しむことができた。
- ・行ってみたいとか、実際に行けなくても少し行った気分になるような内容であった。

- ・地元の食材を使って山頂で料理をしていただくというまさにそのひと工夫が、素朴だがどれもとても美味しそうであった。
- ・この番組は、今後また色々と広がりがあるのではないか、さらに広がりを作り出すことのできるいい企画である。

気になった点

- ・浅間嶺を全く知らない視聴者もいるので、地図をアップする時間をもっと長くしても良いのではないか。
- ・東京都の位置関係が（我々関西に住む人間にとっては）わかりにくいので、もう少し具体的にイメージが出来るような工夫が欲しい。
- ・登山にいざなう趣旨の番組だとすると、当日の天候、気温などの状況や安全情報、その山の登山の難易度がどの程度のものであるかといったことを番組の冒頭で示してほしい。
- ・今回、山頂クッキングということで実際に山頂でクッキングするシーンを楽しみにしていたが、実際のクッキングシーンが少なかった。
- ・遼河さんのリュックはとても軽そうに見えたが、調理器具や素材はそのリュックに入っていたのか。
- ・登山料理については、調理器具や素材の選び方、持参する方法などにも大変な苦労があり、工夫のし甲斐のある部分でもあるので、その視点でもっとリアルに伝わってくると、より面白くなったのではないか。
- ・山で火を使って調理する場合、その後の始末の方法（山での調理のマナー）についても触れた方がよかったのではないか。
- ・山での地元の食材の入手方法についても知りたかった。
- ・甲州街道の説明が少なかった。
- ・最初に向かった払沢の滝にはなぜ最初に向かったのか、何かお気に入りの部分があるのかなど遼河さん自身から語って欲しかった。
- ・浅間嶺には、春の八重桜、秋の紅葉といった有名な見どころがある。登山の途中で人に会う場面も少なく画的に寂しい感じがしたので、こういった映像を入れてもよかったのではないか。
- ・檜原村は、東京唯一の村ではなく、他にも村はあるのではないか。
- ・日本にはまだまだこうした低山に魅力があることに気づくことができた。日本の低山や自然を愛するこの番組が長く続いていることはとても嬉しいことである。これからも隠れた名山を紹介し続けて欲しい。

こうした各委員のご意見を弊社制作者とも共有し、今後の番組制作の参考とし、更なる番組の質の向上に努めたいと思います。

